

まぶしい夏の太陽が照りつけ、いよいよ本格的な夏本番を迎える時期となりました。圃場での暑さ対策に追われる時期です。熱中症には注意しましょう。今回のサンアグロNEWSは千代田化成の試験事例を紹介します。

ネギの追肥に **千代田化成**！！

すぐに溶けて、すぐに効く千代田化成を使って品質・収量UPを目指しましょう！

すぐに効く。超速効性肥料。拡散性も抜群！！



千代田化成はすぐに溶けてるので、ネギが肥料を欲しい時にすぐに効果を発揮します。また、拡散性・土壌での保持能力が優れているので根からまんべんなく吸収することができ、収量・品質UPの手助けをしてくれます。

試験事例

試験地：埼玉県白岡市
品種：ホワイトスター
試験区：千代田化成472
対照区：ALL14
定植：5月28日

施肥内容

	6月18日	8月27日	9月29日	11月16日
千代田化成P472	29kg	29kg	43kg	43kg
一般化成（オール14）	29kg	29kg	43kg	43kg

結果		kg/条1m	出荷調整後			kg/条1m	対照比
		株重量	L太	L	L細	B 総収量	
①	試験区	6.17	2.42	1.41	0.38	0.04 4.25	108%
②	対照区	5.88	1.79	1.63	0.48	0.04 3.94	

出荷調製：長さ55cm、葉数3～4枚に調製 出荷規格：L太2.2cm以上、L1.7～2.2cm、L細1.2～1.7cm、B1.2cm以下

総量が対照区と比較して108%増加。
特にL太品が多くなっており、早期収
穫にも繋がる結果となりました。
出荷前の色揚げにも効果的です。



試験場所

千葉県香取市
試験肥料
①千代田550
②フミンホス力特8
③他社肥料
施肥量:12kgN/10a
播種:2026年1月9日

収量調査結果

項目	千代田化成	フミンホス力	他社肥料
収穫時g数	251	248	263
調整後g数	198	177	179
差異g数	53	71	84

4月4日の収量データ(5株平均のグラム数データ)
収穫時のgと包装前のgを比較

～インタビュー～

Q1.露地催場はハウス栽培と違い、天候の影響を受ける環境ですがどうでしたか？

A.いつも路地栽培なので1月の冷たい風や霜、厳しい寒さに直接さらされているので生育の遅れやバラツキが心配でしたが、例年より生育が前倒しになり素晴らしいボリュームで収穫を迎えられました。

Q2.露地栽培で千代田化成を使ったときの印象はどうでしたか？

A.千代田化成は溶けが良く生育が早いです。
冬の寒い時期の露地栽培でしたが、効きもよく、生育が早いため、いつもより1週間ほど早く収穫ができました。

Q3.一般の肥料と千代田化成・フミンホスカで育ったほうれん草のちがいはありましたか？

A.収穫して並べたときに一目でわかったのは、「葉の厚みと色、茎もしっかりしている」という事です。
ただ、早いだけでなく、根元から立ちあがる茎(葉柄)が太くてガッチリと育ってくれました。
包装作業の時、調整作業が大変でしたが、千代田化成・フミンホスカの区画は下葉も少なく、作業時間が短縮できました。
秀品率もあがり、見た目もよく、作業短縮になりワンランク上のほうれん草になりました。

肥料でも高温対策

今年の夏も高温になることが予測されます。高温時は植物も体力を消耗し、肥料分を多く使う傾向がありますので、適時追肥を行ってください。特に水稻では元肥一発タイプでも高温により肥料が足りなくなることがあります。高温時に肥料が足りないと白未熟等の高温障害が出やすくなるので、元肥一発タイプでも状況に応じて追肥をするようにしましょう。

作業される時は皆様も水分を取るなど熱中症対策を行って体調管理を行ってください！